

なぜ、弁護士が
ドキュメンタリー映画を
作らねばならなかったのか？

弁護士 河合弘之 初監督作品

日本と原発

私たちは原発で幸せですか？

監督／河合弘之（弁護士）

構成・監修／海渡雄一（弁護士）

音楽／新垣 隆
（テーマ曲書き下ろし）

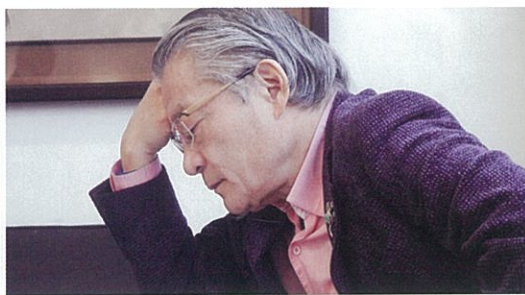
この映画は原発についての報道・広報・広告の紹介、参照、論評をも目的としています。

©Kプロジェクト

70歳のベテラン弁護士が監督した 原発の不合理を解き明かす映画「日本と原発」!!

映画は、原発事故発生当初に起こった知られざる悲劇から幕を開ける。

2011年3月11日。福島第一原発の北7kmに位置する浪江町では地震発生直後から地元の消防団員らによって津波に流された人々の救助活動が行われていた。しかし翌12日早朝、政府は原発の半径10km圏内を避難地域として指定。消防団員達は行方不明者の救助を断念せざるを得なくなったのだった。1ヶ月後に再開された捜索の結果、浪江町沿岸では180人以上もの遺体が発見された。原発事故さえ無ければ、多くの命が助けられたはずである！



原発差止訴訟を展開する弁護士・河合弘之は事故後、活動に一層の力を注いでいた。しかし全国の脱原発弁護士達の情熱と裏腹に国民の原発への関心は薄れゆく一方である。河合は思い立った。「映画を作ろう！」
国民に原発の不合理、非人間性を理解してもらうには、ビジュアルの威力が必要だ！そして河合は盟友、海渡雄一弁護士を構成・監修に迎え「日本と原発」を作り上げた。有識者の見解、被災者の苦悩、そして原発訴訟の闘いを描いたこの映画は、現在、原発差止訴訟の証拠として提出され、法廷での上映も続々と実現されている。

新垣隆が音楽を書き下ろし！

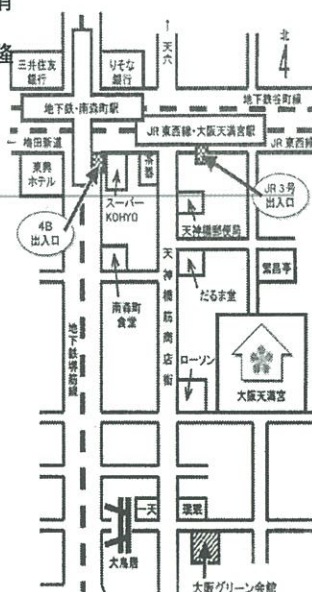
河合監督に賛同した新垣隆氏がオーケストラを率いて渾身の楽曲を提供しています！

登場人物：青木秀樹 飯田哲也 大島堅一 小出裕章 古賀茂明 田中三彦 馬場有

製作・監督：河合弘之 構成・監修：海渡雄一 制作協力：木村結 音楽：新垣隆

脚本・編集・監督補：拝身風太郎 撮影：中島喜一 制作：Kプロジェクト

<http://www.nihontogenpatsu.com>



◆◆ 定員各140人・先着順 ◆◆

申し込み方法

完全予約・当日清算方式です。参加希望者は、電話・FAX・メールで事前に下記実行委員会までお申し込み下さい。

「日本と原発」8.29 上映実行委員会

●電話 (06) 6949-8120 ●FAX (06) 6949-8121

●メール info@genpatsuzero-osaka.com

とき 8月29日(土)

昼の部 午後2時～4時15分

夜の部 午後6時～8時15分

ところ グリーン会館大ホール 06-0358-8381

大阪市北区天神橋1丁目13-15

天神橋商店街を南に進み大阪天満宮大鳥居の見える筋

料金 1000円 学生 500円